

国 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい国語
15	三 省 堂	現代の国語
17	教 出	伝え合う言葉 中学国語
38	光 村	国語

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元・教材の目標の示し方	目標の示し方
		② 言葉の特徴や使い方に関する事項	新出漢字の示し方、重要語句の示し方、言語・漢字・文法の扱い
		③ 読書と情報の扱い方に関する事項	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数等、情報の扱い方に関する事項に関わる内容
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 問題解決的な学習を実施するための工夫	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標、学習活動
		⑤ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	単元名・教材名、目標、学習過程、見通しを立てさせるための資料等
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元・教材等の配列	配列の特徴、総単元数、領域ごとのページ数
		⑦ 伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元数、単元名・教材名、ページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述との関連付けがなされた図表等	文章の内容理解に関連した図表等の挿入がある教材名、ページ数、目標、図表等の種類
		⑨ 巻末資料の示し方	巻末資料の示し方と内容及びページ数
(オ)	言語活動の充実	⑩ 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫	単元名、例示されているテーマ・議題、目標・活動の目的等

【国語】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元・教材の目標の示し方
方法	目標の示し方

	目標の示し方	第3学年「故郷」における目標の示し方
東書	<p>☆ 単元の扉に、単元の目標を単元名として示している。</p> <p>◇ 教材の終わりの「てびき」の部分に「言葉の力」として、身に付ける資質・能力を示している。</p> <p>□ 教材の初めに目標を「問いかけ」で示し、終わりの「てびき」の部分に目標を示している。</p>	<p>6 関係を読む 「故郷」</p> <p>☆ 関係を読む</p> <p>◇ 人間関係の変化に着目する</p> <p>□ 「人物の思いについて考えながら作品を読み深めるには、どんなところに気をつけたらいいんだろう。」</p> <p>□ 登場人物の思いについて考えながら、作品を読み深める。</p> <p>□ 作品を読んで考えを深め、社会の中で生きる人間について、自分の意見を持つ。</p>
		<p>7 読みを深め合う 「故郷」</p> <p>☆ 読みを深め合う</p> <p>◇ 比較する</p> <p>□ 登場人物の言動や関係を捉え、作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをつくる。</p> <p>□ 人物の心情と描写との関連や人物設定など、表現の特徴や工夫を捉え、評価する。</p>
三省堂	<p>☆ 単元の扉に、単元の目標を単元名として示している。</p> <p>◇ 教材の終わりの「学びの道しるべ」の部分に「思考の方法」として、身に付ける資質・能力を示している。</p> <p>□ 教材の初めと、終わりの「学びの道しるべ」の部分に目標を示している。</p>	<p>6 自己／他者／物語 地上の道のようなもの 「故郷」</p> <p>☆ 自己／他者／物語 地上の道のようなもの</p> <p>◇ 構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成・共有、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。</p> <p>□ 理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。</p> <p>□ 一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。</p> <p>□ 「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。</p>
		<p>4 状況の中で 「故郷」</p> <p>☆ 多様な状況の中で生きる人の姿に思いをはせ、考えを深める</p> <p>◇ 小説を批評する</p> <p>□ 人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、読書の意義を理解する。</p> <p>□ 小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。</p>
教出	<p>☆ 単元の扉に、課題を考えるためのキーワードと単元名を示している。</p> <p>◇ 単元の扉の最後に、学びの振り返りとして、身に付ける資質・能力を示した「言葉の地図」を見るよう促している。</p> <p>□ 教材の初めに目標を示している。</p>	
光村	<p>☆ 単元の扉に、単元名と単元の目標を示している。</p> <p>◇ 教材の終わりの「学習」の部分に「学習の窓」として、身に付ける資質・能力を示している。</p> <p>□ 教材の初めと、終わりに目標を示している。</p>	

(注) ☆は単元の目標。◇は目標に係る資質・能力についての記述。□は教材の目標を表す。

【国語】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②言葉の特徴や使い方に関する事項
方法	新出漢字の示し方, 重要語句の示し方, 言語・漢字・文法の扱い

		第1学年													
		新出漢字の数及び脚注等への示し方	重要語句の脚注への示し方とその数	言語 (ページ数)	漢字 (ページ数)	文法 (ページ数)									
東書		<ul style="list-style-type: none"> ○ 371字 ○ 脚注に行数, 音訓を示している。 ○ 脚注のない教材については, 教材末にページ数, 行数, 音訓を示している。 ○ 巻末に「新出漢字一覧」として, ページ数, 部首, 画数, 筆順, 各音訓についての用例が示してある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語探検 <ul style="list-style-type: none"> ・音声の働きや仕組み (1) ・接続する語句・指示する語句 (3) ・方言と共通語 (2) ・語の意味と文脈・多義語 (2) ○ 資料編 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を広げよう (4) ・学習用語一覧 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字道場 <ul style="list-style-type: none"> ・活字と書き文字・画数・筆順 (2) ・音読み・訓読み (2) ・漢字の部首 (2) ・他教科で学ぶ漢字 (1) ・漢字の成り立ち (2) ○ 資料編 <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字一覧 (12) ・新出音訓一覧 (1) ・常用漢字表 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の窓 <ul style="list-style-type: none"> ・文法とは・言葉の単位 (1) ・文の成分・連文節 (1) ・単語の分類 (1) ・名詞 (1) ・連体詞・副詞・接続詞・感動詞 (1) ○ 基礎編 <ul style="list-style-type: none"> ・文法解説 ・文法とは・言葉の単位 (3) ・文の成分・連文節 (5) ・単語の分類 (4) ・名詞 (2) ・連体詞・副詞・接続詞・感動詞 (3) 									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>記号の意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>意味を調べよう</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>文</td> <td>短文を作ろう</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>似た意味の語句(類義語)を挙げよう</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>反対の意味の語句(対義語)を挙げよう</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>				記号	記号の意味	数	意	意味を調べよう	70	文	短文を作ろう	29
記号	記号の意味	数													
意	意味を調べよう	70													
文	短文を作ろう	29													
類	似た意味の語句(類義語)を挙げよう	51													
対	反対の意味の語句(対義語)を挙げよう	8													
三省堂		<ul style="list-style-type: none"> ○ 427字 ○ 脚注に行数, 本文中の読みを示している。 ○ 教材末にページ数, 音訓, 用例を示している。 ○ 巻末に「一年生で学ぶ漢字字典」としてページ数, 音訓, 中学では学ばなくてもよい音訓, 部首, 画数, 筆順, 用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉発見 <ul style="list-style-type: none"> ・音声のしくみとはたらき (4) ・話し言葉と書き言葉 (2) ・接続する語句・指示する語句 (2) ・比喩・倒置・反復・対句・体言止め (2) ・方言と共通語 (3) ○ 参考資料 <ul style="list-style-type: none"> ・学習用語辞典 (6) ・語彙の広がり (4) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字のしくみ <ul style="list-style-type: none"> ・活字と手書き文字・画数・筆順 (2) ・部首と成り立ち (3) ・漢字の音と訓 (2) ○ 漢字を身につけよう (9) ○ 参考資料 <ul style="list-style-type: none"> ・一年生で学ぶ漢字字典 (18) ・一年生で学ぶ音訓 (1) ・小学校六年生で学習した漢字 (1) ・常用漢字表音訓一覧 (14) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の窓 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位・文節の関係 (1) ・単語の類別・品詞 (1) ○ 文法のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (1) ・文節の関係・連文節・文の成分 (4) ・単語の類別・品詞 (2) ・名詞 (2) ・副詞・連体詞・接続詞・感動詞 (3) 									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>記号の意味</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意</td> <td>辞書で意味を調べる</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>類義語</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>対</td> <td>対義語</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>				記号	記号の意味	数	意	辞書で意味を調べる	137	類	類義語	51
記号	記号の意味	数													
意	辞書で意味を調べる	137													
類	類義語	51													
対	対義語	13													

【国語】

教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 396 字 ○ 新出漢字には、本文中にルビが振ってある。 ○ 新出漢字が出てくる行の下の脚注に漢字のみを示している。 ○ 教材末に「この教材で学ぶ漢字」としてページ数、音訓、用例を示している。 ○ 巻末に「一年生で学習した漢字」としてページ数、音訓、中学校で学ばない読み、総画数、部首、部首を除いた画数、筆順、用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉の小窓 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音声 (1) ・日本語の文字 (1) ・方言と共通語 (1) ○ 言葉と文法解説編 <ul style="list-style-type: none"> 言葉 (解説) ・日本語の音声 (4) ・日本語の文字 (4) ・方言と共通語 (4) ○ 言葉の自習室 <ul style="list-style-type: none"> ・学習に必要な用語 (2) ・理解に役立つ言葉 (2) ・表現に役立つ言葉 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の広場 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の部首 (2) ・画数と活字の字体 (2) ・漢字の音と訓 (2) ・熟語の構成 (2) ○ 漢字の練習 (7) ○ 漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・一年生で学習した漢字 (10) ・小学校六年生で学習した漢字 (4) ・常用漢字表 (13) ・一年生で読みを学習した漢字・語 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の小窓 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (1) ・文の成分 (1) ・単語のいろいろ (1) ○ 言葉と文法解説編 <ul style="list-style-type: none"> 文法 (解説) ・言葉の単位 (3) ・文の成分 (5) ・単語のいろいろ (5)
		記号	記号の意味	数	
		意	調べたり考えたりして意味を理解する。	51	
		文	短文を作って表現に生かす。	32	
		同	同じ音をもつ語句を調べる。	2	
		対	反対や対比の意味をもつ語句を調べる。	3	
類	似た意味をもつ語句を調べる。	17			
考	考えときの観点として生かす。	5			
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 390 字 ○ 脚注に行数、音訓、本文中での読みを示している。 ○ 教材末に「新出漢字」として、ページ数、音訓を示している。 ○ 巻末に「一年生で学習した漢字」としてページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例、慣用語・ことわざ・四字熟語などを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・声を届ける (2) ・続けてみよう (1) ・指示する語句と接続する語句 (3) ・言葉を集めよう (2) ・方言と共通語 (2) ・さまざまな表現技法 (3) ○ 資料 <ul style="list-style-type: none"> ・書体の特徴 (1) ・敬語を使う (1) ・語彙を豊かに (2) ・学習のための用語一覧 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立てと部首 (2) ・漢字の音訓 (2) ・漢字の成り立ち (2) ○ 漢字に親しもう (6) ○ 漢字の練習 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校六年生で学習した漢字 (3) ・小学校六年生で学習した漢字一覧 (2) ・一年生で学習した漢字 (15) ・一年生で学習した音訓 (1) ・常用漢字表 (15) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法への扉 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉のまとまりを考えよう (1) ・言葉の関係を考えよう (1) ・単語の性質を見つけよう (1) ○ 文法 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (4) ・文の組み立て (5) ・単語の分類 (4) ・参考 (4) 口語動詞活用表 口語形容詞活用表 口語形容動詞活用表 口語助動詞活用表
		記号	記号の意味	数	
		意	意味を調べる。	51	
		文	短文を作る。	28	
		類	類義語を調べる。	5	
		対	対義語を調べる。	3	
関	関連語句を確認する。	7			

【国語】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③読書と情報の扱い方に関する事項
方法	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数等、情報の扱い方に関する事項に関わる内容

		読 書		情報の扱い方に関する事項		
		読書に関わる内容及び紹介されている書籍数		情報の扱い方に関する事項に関わる内容		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に、読書単元「読書への招待」を3つ設定し、3作品を掲載している。各学年とも、同単元内に読書案内「本で世界を広げよう」「名作を読もう」と言語活動の教材を掲載している。 ○ 各学年とも、教材の終わりや「てびき」に「読書案内」として書籍紹介を掲載している。また、資料編に読書案内「本の世界を楽しもう」を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で361冊 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に、情報活用に係る単元を設定し、それぞれ1作品を掲載している。また、各学年とも同単元内に「話す・聞く／話し合う」活動の教材を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編に、情報活用に係る教材を掲載している。 		
東 書	第1学年	教材	「碑」「風を受けて走れ」「トロッコ」	第1学年	教材	「ニュースの見方を考えよう」 資料 著作権と引用
		活動	「図書館で調べよう」 「本のポップを作ろう」		活動	話し合いで理解を深めよう 「グループディスカッション」
	第2学年	教材	「卒業ホームラン」「饅節ー世界に誇る伝統食」「坊っちゃん」	第2学年	教材	「『正しい』言葉は信じられるか」 資料 著作権について考える
		活動	「ビブリオバトルをしよう」「調べて一枚レポートにまとめよう」		活動	話し合いで問題を検討しよう 「リンクマップによる話し合い」
	第3学年	教材	「恩返し of 井戸を掘る」「何のために『働く』のか」「最後の一句」	第3学年	教材	「いつものように新聞が届いたーメディアと東日本大震災」 資料 情報の信頼性を確かめる
		活動	「読書会を開こう」「将来の目標や計画を立てよう」		活動	話し合いで意見をまとめよう 「合意形成を目指す話し合い」
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に「私の読書体験」を掲載し、文章中の図書及び筆者の著作した図書を紹介している。また、「読書活動」に係る言語活動を1つ掲載している。 ○ 各学年とも、教材の終わりや「学びの道しるべ」中に、「私の本棚」として書籍紹介を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編の前に「読書の広場」を設定し、「小さな図書館」の名称で書籍紹介を掲載している。また、各学年とも、「読書の広場」に5作品の読書教材を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で285冊 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に情報活用に係り、「情報を関係づける」という単元を設定している。それぞれ資料を2つ掲載している。また、同単元内に書く活動の教材を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編に「情報を活用する」として、情報活用に係る教材「情報探しの方法」「引用と著作権」を掲載している。 		
三 省 堂	第1学年	教材	本を読むことのおもしろさ	第1学年	教材	複数の情報を関連づけて考えをまとめる 資料 情報を活用する
		活動	「ブッククラブ」		活動	「行事案内リーフレット」 必要な情報をわかりやすく伝える
	第2学年	教材	生涯の友と出会う	第2学年	教材	複数の情報を関連づけて考えをまとめる 資料 情報を活用する
		活動	「ビブリオバトル」		活動	「投稿文」 情報を関連づけて根拠を明確に示す
	第3学年	教材	谷間の君へ	第3学年	教材	複数の情報を関連づけて考えをまとめる 資料 情報を活用する
		活動	「ブックトーク」		活動	「ポスター」 情報の信頼性を確かめて考えを発信する

【国語】

教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に、読書単元「読書への招待」として、2作品を掲載している。また、2作品のうち最初の作品の終わりにある「みちるべ」では、読書に係る言語活動について掲載し、後の作品では作者の紹介を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編の「言葉の自習室」に読書に関わる教材4作品を掲載している。 ○ 各学年とも、各単元末と資料編に「広がる本の世界」として書籍紹介を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で274冊 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編の情報活用に係る単元「メディアと表現」を設定し、1学年は教材を4つ、2・3学年は教材を3つ掲載している。 ○ 各学年の「メディアと表現」のうち、1つは教材内容を活かして書く言語活動を掲載している。 ○ 各学年とも、「メディアと表現」教材の「学びナビ」の中で、これまでの学習を踏まえた解説を加えるとともに、情報の扱い方を説明している。 		
	第1学年	教材 「ベンチ」 「蜘蛛の糸」 活動 本の帯やポップを作り、本を薦めよう	第1学年	教材 「全ては編集されている」 「写真で『事実』を表現する」 「広告の情報を考える」 「漫画で『物語』を表現する」 活動 広告を作る	
	第2学年	教材 「夢を跳ぶ」 「坊っちゃん」 活動 関心を広げ、課題を見つけてレポートを書こう	第2学年	教材 「SNSから自由になるために」 「脚本で動きを説明する」 「映像作品の表現を考える」 活動 小説を脚本に書きかえる	
	第3学年	教材 「薔薇のボタン」 「最後の一句」 活動 ビブリオバトルで本の世界を広げよう	第3学年	教材 「メディア・リテラシーはなぜ必要か？」 「新聞が伝える情報を考える」 「ニュースで情報を編集する」 活動 ニュースで情報を伝える	
	光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に、読書単元を2つ設定している。「読書生活を豊かに」は、「読書活動」「読書」「読書案内」「読書コラム」で構成されている。「読書に親しむ」は、「読書」「読書案内」で構成されている。いずれも「読書」掲載作品について、「続きはこちら」で書籍紹介をしている。 ○ 各学年とも、作品脚注に「広がる読書」として書籍紹介を掲載している。 ○ 資料編では、1年生は2作品と「読書感想文の書き方」を、2年生は2作品、3年生は4作品と「読書記録をつける」を、読書活動に係る教材として掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で277冊 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編の情報活用に係る単元「情報社会を生きる」を設定し、教材を掲載している。また、情報整理の方法として「情報整理のレッスン」、情報と情報の関係を捉える「思考のレッスン」を設定し、情報の扱い方と関連させた「話す・聞く」「書く」活動の教材を掲載している。 ○ 各学年とも、情報整理の方法を『「情報処理のレッスン」一覧』、情報と情報の関係を『「思考のレッスン」一覧』として資料編に掲載している。 	
		第1学年	教材 本の中の中学生 考える人になろう 活動 ポップを作ろう 読書掲示板で感想を共有しよう 読書記録を続けていこう 資料 読書感想文の書き方	第1学年	教材 「情報を集めよう」 「情報を読み取ろう」 「情報を引用しよう」 活動 情報整理のレッスン「比較・分類」 思考のレッスン1「意見と根拠」 思考のレッスン2「原因と結果」
		第2学年	教材 翻訳作品を読み比べよう 研究の現場にようこそ 活動 本の紹介合戦をしよう 読書ポスターを作ろう 読みたい本のリストを作ろう	第2学年	教材 「メディアを比べよう」 「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」 『「自分で考える時間」をもとう』 活動 情報整理のレッスン「思考の可視化」 思考のレッスン1「具体と抽象」 思考のレッスン2「根拠の吟味」
		第3学年	教材 「私の一冊」を探しにいこう 本は世界への扉 活動 ブックトークをしよう 読書会を開こう これまでの読書生活を振り返り、これからの読書生活をデザインしよう 資料 読書記録をつける	第3学年	教材 「実用的な文章を読もう」 「報道文を比較して読もう」 活動 情報整理のレッスン「情報の信頼性」 思考のレッスン「具体化・抽象化」

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④問題解決的な学習を実施するための工夫
方法	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標、学習活動

		書くこと		
		単元名・教材名	目標	学習活動
東書	第1学年	○ 分かりやすく伝える ・「調べて分かったことを伝えよう『食文化』のレポート」	○ ふだんの生活の中からテーマを決め、調べて分かったことを整理する。 ○ 調べて分かった事実や自分の考えがよく伝わるように、分かりやすい構成でレポートを書く。	○ 「食文化」について個人テーマを決め、情報をカードに記録して整理した後、調べて分かったことをレポートに書く活動を取り上げている。
	第2学年	○ 伝え方を工夫する ・「郷土のよさを伝えよう『地域の魅力』の紹介文」	○ 身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを絞り込む。 ○ 読み手を意識しながら、表現の効果などを確かめて、文章を推敲する。	○ 紹介したいことを決め、調べて分かったことを情報誌に書く活動を取り上げている。
	第3学年	○ 文章の展開を考える ・「編集して伝えよう『環境』の新聞」	○ 環境について調べたいテーマを決め、集めた材料を検討し、伝えたいことを明確にする。 ○ 伝える目的や内容に適した文章の種類を選択し、構成や表現を工夫して書く。	○ 環境についてグループでテーマを決め、テーマに関する題材の材料を集めて新聞を書く活動を取り上げている。
三省堂	第1学年	○ わかりやすく伝える ・「調べたことを整理してわかりやすくまとめる」	○ 調べて集めた情報を整理して、伝えたい内容を明確にする。 ○ レポートの構成を理解し、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いて書く。	○ 課題を身近なもの等から決め、情報をカードに記録して整理した後、レポートの形式で書く活動を取り上げている。
	第2学年	○ 情報を関係づける ・投稿文「情報を関連づけて根拠を明確に示す」	○ 多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 ○ 自分の意見と根拠を明確にして、説得力のある文章を書く。	○ 共生社会の実現に関して、自分の立場を決め、根拠を意見の根拠となる情報を整理した後、自分の意見が明確になるよう投稿文を書く活動を取り上げている。
	第3学年	○ 情報を関係づける ・ポスター「情報の信頼性を確かめて考えを発信する」	○ 書く目的や意図に応じて文章の種類を選択し、読み手を説得できるよう構成を工夫する。 ○ 信頼性の高い資料を適切に引用して、自分の考えがわかりやすく伝わる文章を書く。	○ 社会生活における課題について題材を決め、文章の種類や引用する資料を検討した後、図表やグラフ、配置等を工夫してポスターを書く活動を取り上げている。

【国語】

教出	第1学年	○ 人権／多様性／平和 夜、僕はもう、ヘルガの夢ばかり見た ・「材料を整理して案内文を書く」	○ 集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。 ○ 目的や意図を意識して、案内文を書く。	○ 題材を決め、必要な情報を集め、整理した後、相手や目的を意識しながら案内文を書く活動を取り上げている。
	第2学年	○ 自己／他者／物語 かすかな湖のにおいては、そこにもあった ・「新聞の投書を書く」	○ 多様な方法で材料を集める。 ○ 社会生活の中から題材を選んで書く。	○ テーマについて課題を設定し、材料を集め、構成を検討した後、新聞の投書を書く活動を取り上げている。
	第3学年	○ 近代化／国際社会／共生 生命は、恒常的に見えて、いずれも一回性の現象である ・「情報をまとめて作品集を作る」	○ 自分の文章の収集と整理をする。 ○ 学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。	○ これまでに書いてきた文章の中から作品集のテーマに合う作品を選んだ後、構成を考えたり、前書き等を書いたりする活動を取り上げている。
光村	第1学年	○ 筋道を立てて ・「根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く」	○ 本や資料から文章や図表を引用する。 ○ 根拠を明確にし、伝えたいこと为中心が明らかになるように、工夫して書く。	○ 中学生の生活から課題を決め、実態調査やアンケート等の結果を整理した後、課題に関連する資料を引用しながらレポートを書く活動を取り上げている。
	第2学年	○ 広がる学びへ ・「多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る」	○ 多様な方法を用いて、さまざまな情報を収集する。 ○ 収集した情報を、図や記号などを用いて整理し、伝えたいことを明確にして書く。	○ 調べる職業を決め、項目や内容に適した調べ方を考えて情報を集め、整理した後、見出しや文章等の配置を考え、紙面を書く活動を取り上げている。
	第3学年	○ 深まる学びへ ・「文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する」	○ 文章の種類とその特徴について理解を深める。 ○ 取材した内容に適した文章の種類を選び、構成を工夫して書く。	○ 記事の内容を決め、文章の種類や添える図表や写真を検討した後、構成や配置を考え、紙面を書く活動を取り上げている。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	単元名・教材名、目標、学習過程、見通しを立てさせるための資料等

第3学年 批評文				
	単元名・教材名	目標	学習過程	資料等
東書	○ 多面的に検討する ・「観察・分析して論じよう『ポスター』の批評文」	○ 批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下す。 ○ 論の進め方を考え、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。	○ 学習の流れ ①批評の対象について知る ②対象を観察・分析する ③対象を比較して判断を下す ④批評文を書く ⑤読み合って評価する ○ 振り返り ・観察・分析や比較をして批評文を書く学習を通して、どんな力が身についたか、その力をこれからの学習や生活でどう生かしていきたいかをまとめよう。	・批評の対象例(ポスター) ・観察・分析のメモの例 ・批評文例(批評文の完成例) ・問題(新聞記事,ポスター)
三省堂	○ ものの見方・感性を養う ・批評文「観察・分析をとおして評価する」	○ 読み手を説得できるような論理の展開を考え、構成を工夫して書く。 ○ 論理の展開や表現の仕方・工夫などについて意見を交流し、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。	○ 学習の流れ ①題材を決める ②対象を観察、分析する ③構成を考えて批評文を書く ④交流して相互評価する ○ 学びを振り返る ・目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめましょう。	・思考の方法例(俳句) ・批評文の例(俳句)
教出	○ 表現／対話／思想 このピアノは、自然が調律した元の形に戻ろうとしたのだ ・「説得力のある批評文を書く」	○ 資料を比較して、自分の考えを整理する。 ○ 伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書く。	○ 学習活動の流れ ①批評する観点を決めて対象を観察する。／気づいた特徴を分析する。 ②判断や評価を伝えやすい構成を考える。 ③効果的な論理展開や書き出し方、まとめ方を考え、批評文を書く。 ④批評できているかに注意して推敲する。 ⑤できあがった批評文を友達と読み合い、助言をもとに自分の文章のよい点や改善点を見つける。 ○ 振り返り ・資料を比較して、自分の考えを整理している。 ・伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書いている。	・批評するヒント例(ポスター) ・批評文例(スマートフォン)
光村	○ 自らの考えを ・「多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く」	○ 具体的な題材を基に、その価値などについて評価する。 ○ 表現のしかたを考えたり資料を引用したりして、説得力のある文章を書く。	①題材を選ぶ ②観点を決めて分析する ③構成を考える ④推敲して仕上げる ⑤学習を振り返る ○ 学習を振り返る ・どのように分析・吟味して批評をまとめたか。 観点を決めて分析したり比較したりしたか。 ・どのような工夫をして文章にまとめたか。 資料を適切に引用し、説得力をもたせたか。 論理の展開や批評の言葉を意識してまとめたか。	・題材の例(広告) ・分析例(観点の間いとそれに対する自分の考え) ・批評文の例(広告)

【国語】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元・教材等の配列
方法	配列の特徴，総単元数，領域ごとのページ数

	配列の特徴	本文中の総単元数・ページ数					
		学 年	1	2	3		
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本編」と「基礎編」，「資料編」の3部からなる。 ○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ○ 古典教材は，全学年，第5単元に配列している。 ○ 基礎編は，「学びを支える言葉の力」「文法解説」で構成している。 ○ 資料編は，「読むこと」「古典」「話すこと・聞くこと/書くこと」「言葉」で構成している。 	総 単 元 数			7	7	7
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	15	14	16	
			書くこと	23	26	22	
			読むこと	77	76	93	
			伝統的な言語文化	22	26	22	
言葉の特徴やきまり・情報の扱い方・漢字・読書	110	107	99				
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本編」と「資料編」の2部からなる。 ○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ○ 古典教材は，全学年，第5単元に配列している。 ○ 「読むこと」の学習は，教材の後に「読み方を学ぼう」を配列している。 ○ 「読書の広場」は，読書案内である「小さな図書館」と，古典を含む5つの読書教材で構成している。 ○ 「資料編」は，「情報を活用する」「古典芸能に親しむ」「社会生活に生かす」「参考資料」で構成している。 	総 単 元 数			9	9	8
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	14	17	14	
			書くこと	28	25	18	
			読むこと	105	109	104	
			伝統的な言語文化	22	30	27	
言葉の特徴やきまり・情報の扱い方・漢字・読書	82	74	75				
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本編と巻末付録（言葉の自習室）の2部からなる。 ○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ○ 古典教材は，全学年で第5単元に配列し，単元末に「読むこと」を含んでいる。 ○ SDGs を国語科の視点で教材化し，「持続可能な未来を創るために」を新設している。 ○ 「読むこと」の学習は，教材の前に「学びナビ」（見通し）を配列している。 ○ 巻末付録（言葉の自習室）は，「読書」4作品と資料で構成している。 	総 単 元 数			9	9	8
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	13	16	17	
			書くこと	16	18	15	
			読むこと	135	138	131	
			伝統的な言語文化	21	27	28	
言葉の特徴やきまり・情報の扱い方・漢字・読書	77	81	82				
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本編と巻末資料（学習を広げる）の2部からなる。 ○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴やきまりに関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ○ 古典教材は，全学年で第6単元に配列している。 ○ 情報教材では「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」を配列している。 ○ 「読むこと」の学習は，教材の終わりに「学習の窓」を設け基本的な観点を示している。 ○ 巻末資料（学習を広げる）は，「読む」「話す・聞く」「書く」「情報」「読書」「伝統的な言語文化」「言葉・漢字」との関連で構成している。 	総 単 元 数			8	8	8
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	14	14	18	
			書くこと	23	19	13	
			読むこと	96	99	70	
			伝統的な言語文化	25	29	29	
言葉の特徴やきまり・情報の扱い方・漢字・読書	83	78	71				

【国語】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統的な言語文化に関する単元数，単元名・教材名，ページ数

	学年	単元の数 (ページ数)	単元名・教材名	単元の中で取り上げられている古典作品
東書	1	1 (22)	○ 伝統文化に親しむ ・ 移り行く浦島太郎の物語 ・ 伊曾保物語 古典の仮名遣い ・ 竹取物語 古典の言葉とその意味 ・ 矛盾 故事成語の例 漢文の読み方	『伊曾保物語』「犬と肉のこと」「鳩と蟻のこと」 『竹取物語』(冒頭)「かぐや姫の昇天」 『韓非子』「矛盾」
	2	1 (26)	○ 伝統文化を味わう ・ 枕草子・徒然草 係り結び ・ 平家物語 文体を味わう ・ 漢詩 漢詩の形式	『枕草子』(第一段)「九月ばかり(第百二十五段)」 『徒然草』(序段)「仁和寺にある法師(第五十二段)」 『平家物語』「祇園精舎」「那須与一」 『春暁』『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』 『春望』
	3	1 (22)	○ 伝統文化を受け継ぐ ・ 万葉・古今・新古今 和歌の修辞 ・ おくのほそ道 俳諧の歴史 ・ 論語 漢文の読み方 古典の言葉	『万葉集』『古今和歌集』「仮名序」『新古今和歌集』 『おくのほそ道』(冒頭)「平泉」 『論語』
三省堂	1	1 (22)	○ 古典に学ぶ ・ 月を思う心 ・ 竹取物語 古文の読み方-古典の仮名遣い ・ 故事成語-矛盾 漢文の読み方-訓読の仕方	『竹取物語』(冒頭)(かぐや姫の昇天) 『韓非子』「矛盾」
	2	1 (30)	○ 古典に学ぶ ・ 枕草子・徒然草 ・ 平家物語 読み方を学ぼう-物語の転換点 あの人の歌 ・ 漢詩の世界 漢文の読み方-漢詩の形式	『枕草子』(第一段)(第百四十五段) 『徒然草』(序段)(第五十二段)(第九十二段) 『平家物語』(冒頭)「敦盛の最期」 『春暁』『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』 『春望』 『絶句』
	3	1 (27)	○ 古典に学ぶ ・ 和歌の世界 — 万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集 コミュニケーションツールとしての歌 ・ おくのほそ道 読み方を学ぼう-状況・背景 ・ 論語 漢文の読み方-訓読の仕方の確認	『古今和歌集』「仮名序」『万葉集』『新古今和歌集』 『おくのほそ道』「月日は」「平泉」「立石寺」 『論語』
教出	1	1 (21)	○ 伝統/文化/歴史 今は昔、竹取の翁といふ者ありけり ・ 昔話と古典一箱に入った桃太郎— ・ 物語の始まり—竹取物語— 古典の仮名遣い，古典の言葉 ・ 故事成語—中国の名言— 漢文の読み方 ○ 四季のたより	『排風柳多留』「川柳」 『竹取物語』(冒頭)(かぐや姫の昇天) 『韓非子』「矛盾」 『孟子』「助長」

【国語】

	2	1 (27)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統/文化/歴史 祇園精舎の鐘の声, 諸行無常の響きあり ・ 敦盛の最期—平家物語— 歴史的仮名遣い, 係り結び ・ 随筆の味わい—枕草子・徒然草— ・ 二千五百年前からのメッセージ —孔子の言葉— 置き字 ○ 四季のたより 	<p>『平家物語』『祇園精舎』『敦盛の最期』</p> <p>『枕草子』『春はあけぼの(第一段)』『うつくしきもの(第一四五段)』</p> <p>『徒然草』(序段)『仁和寺にある法師(第五二段)』</p> <p>『奥山に猫またといふものありて(第八九段)』</p> <p>『論語』</p>
	3	1 (28)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統/文化/歴史 月日は百代の過客にして, 行きかふ年も, また旅人なり ・ 旅への思い—芭蕉と『おくのほそ道』— ・ 和歌の調べ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集— 歴史的仮名遣い, 和歌の修辞 和歌の句切れとりズム ・ 風景と心情—漢詩を味わう— 漢詩の表現の特徴 日本人が作った漢詩 ○ 四季のたより 	<p>『おくのほそ道』『旅立ち』『平泉』『立石寺』</p> <p>『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』</p> <p>『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春暁』</p> <p>『春望』</p> <p>『翠岑を下る』</p>
	1	1 (25)	<ul style="list-style-type: none"> ○ いにしへの心にふれる 音読を楽しもう—いろは歌 ・ 古典の世界 ・ 蓬莱の玉の枝—「竹取物語」から 古典の言葉 ・ 今に生きる言葉 故事成語を使って体験文を書こう 漢文を読む ○ 季節のしおり 	<p>『いろは歌』</p> <p>『竹取物語』(冒頭)『蓬莱の玉の枝』(不死の薬)</p> <p>『韓非子』『矛盾』</p>
光 村	2	2 (29)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広がる学びへ ・ 枕草子 枕草子 ○ いにしへの心を訪ねる ・ 源氏と平家 音読を楽しもう—平家物語 ・ 扇の的—「平家物語」から ・ 仁和寺にある法師—『徒然草』から 係り結び 人物の特徴を捉えて論じよう ・ 漢詩の風景 律詩について ○ 季節のしおり 	<p>『枕草子』(第一段)(第百四十五段)(第二百十六段)</p> <p>『平家物語』(祇園精舎)『扇の的』</p> <p>『徒然草』(序段)『仁和寺にある法師(第五二段)』</p> <p>『春暁』『絶句』『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』</p>
	3	2 (29)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 深まる学びへ ・ 学びて時に之を習ふ—「論語」から 漢文の訓読 ○ いにしへの心を受け継ぐ ・ 和歌の世界 音読を楽しもう—古今和歌集 仮名序 ・ 君待つと—万葉・古今・新古今 和歌の表現方法 ・ 夏草—「おくのほそ道」から 俳句と俳諧 古典の言葉を引用し, メッセージを贈ろう 古典名句・名言集 ○ 季節のしおり 	<p>『論語』</p> <p>『古今和歌集』『仮名序』</p> <p>『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』</p> <p>『おくのほそ道』(冒頭)(平泉)</p>
	1	1 (25)	<ul style="list-style-type: none"> ○ いにしへの心にふれる 音読を楽しもう—いろは歌 ・ 古典の世界 ・ 蓬莱の玉の枝—「竹取物語」から 古典の言葉 ・ 今に生きる言葉 故事成語を使って体験文を書こう 漢文を読む ○ 季節のしおり 	<p>『いろは歌』</p> <p>『竹取物語』(冒頭)『蓬莱の玉の枝』(不死の薬)</p> <p>『韓非子』『矛盾』</p>

【国語】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧本文記述と関連付けがなされた図表等
方法	文章の内容理解に関連した図表等の挿入がある教材名，ページ数，目標，図表等の種類

第1学年 説明的な文章				
	教材名	ページ数	目標	図表等の種類(数)
東書	オオカミを見る目	6	○ 段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え，内容を読み取る。 ○ 文章の書き方の工夫について考える。	絵(2) 写真(1)
	私のタンポポ研究	7	○ 事実から筆者がどのように考えを導いているかを捉える。 ○ 必要な情報を取り出して要約する。	グラフ(2)
	ニュースの見方を考えよう	6	○ 文章を読み，ニュースを比べて，ニュースの見方について自分の考えを持つ。 ○ 意図に応じて材料を選び，ニュースを編集する。	絵(2)
三省堂	クジラの飲み水	6	○ 段落と段落の関係に着目しながら，文章の展開を捉え，内容を読み取る。 ○ 読み手にわかりやすく伝えるための，筆者の表現の工夫を捉える。	写真(1) グラフ(2)
	玄関扉	6	○ 文章の要旨を捉え，筆者の考えに対して自分の考えをもつ。 ○ 論の展開・構成をふまえて，「外開き」が肯定される過程を捉える。	絵(3)
	意味と意図 —コミュニケーションを考える	6	○ 必要な情報に着目して文章を要約し，内容を捉える。 ○ 文章を読んで理解したことをもとに，自分の考えを深める。	絵(2)
教出	自分の脳を知っていますか	6	○ 文章の中心的な部分に着目し，内容を捉える。 ○ 文章の構成を捉え，要約に生かす。 ○ 「脳の奇妙な癖」を理解し，筆者の考えをまとめる。	絵(2)
	森には魔法つかいがある	9	○ 必要な情報に着目して，調べたり考えたりしながら読む。 ○ 問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ○ 筆者の考えや述べ方を踏まえ，根拠を明確にししながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。	図(2) 写真(7)
	子どもの権利	5	○ 専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ，文章内容を捉える。 ○ 論理の構成や展開に着目して，筆者の主張を読む。 ○ 自分の経験と関連づけて読み，自分の考えをまとめる。	図(1) 写真(1)
	言葉がつなぐ世界遺産	8	○ 問いと答え，事実と意見の関係を捉える。 ○ 事実と意見の関係，文章の構成や展開に注意して読み，筆者の考えを捉える。 ○ 筆者の考えについて，自分の考えをまとめ，理解を確かにする。	図(1) 写真(7)
光村	ダイコンは大きな根？	4	○ 本文中で比較がどのように使われているかを確かめる。 ○ 段落の役割に着目して，文章の内容を捉える。	図(1)
	ちょっと立ち止まって	4	○ 筆者の主張と事例との関係を理解する。 ○ 段落のまとまりに着目し，文章の要旨を捉える。	図(3)
	比喩で広がる言葉の世界	4	○ 比喩について理解し，言葉についての考えを深める。 ○ 文章全体における各段落の役割をおさえ，文章の内容を正確に捉える。	図(1)
	「言葉」をもつ鳥，シジュウカラ	8	○ 筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。 ○ 文章の構成や展開の効果について，根拠を明確にして考える。	写真(4) グラフ(5) 図(1) 表(1)
	「不便」の価値を見つめ直す	8	○ 必要な情報を取り出し，結び付けて要約する。 ○ 筆者の主張を要約し，それに対する自分の考えをもつ。	図(4) 写真(2)

【国語】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨巻末資料の示し方
方法	巻末資料の示し方と内容及びページ数

	巻末資料の示し方	内容（第2学年）	ページ数
東書	○ 「基礎編」「資料編」として全学年に示している。	○ 「学びを支える言葉の力」	24
		○ 「文法解説」	15
		○ 「カメレオン」等 5編	20
		○ 古典「書き手の肖像-清少納言と兼好法師」等	8
		○ 「話すこと・書くこと題材例」等	9
		○ 「新出漢字一覧」「新出音訓一覧」等	25
		○ 「言葉を広げよう」「学習用語一覧」	5
		○ 「学びを支える言葉の力」のまとめ	折込(4)
		○ 「言葉の力一覧」	2
三省堂	○ 「文法のまとめ」「読書の広場」「資料編」として全学年に示している。	○ 「文法のまとめ」	16
		○ 「小さな図書館」	6
		○ 「ポテト・スープが大好きな猫」等 5編	29
		○ 「情報を活用する」	8
		○ 「古典芸能に親しむ」	6
		○ 「社会生活に生かす」	10
		○ 「日本文学名作集」等	18
		○ 「二年生で学ぶ漢字字典」「二年生で学ぶ音訓」等	30
○ 「読み方を学ぼう一覧」	折込(5)		
教出	○ 「言葉と文法(解説編)」「漢字」「言葉の自習室」として全学年に示している。	○ 「言葉(解説)」	10
		○ 「文法(解説)」	19
		○ 読書(「悠久の自然」等 4編)	12
		○ 「レポートの書き方」「近代文学史年表」等	6
		○ 「伝統芸能へのいざない 歌舞伎」	2
		○ 「学習に必要な用語」	2
		○ 「二年生で学習した漢字」等	29
○ 「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」	折込(4)		
光村	○ 「文法・漢字・振り返り」「学習を広げる」として全学年に示している。	○ 「文法」	19
		○ 「漢字 小学校六年生で学習した漢字」等	5
		○ 「学習を振り返ろう」	3
		○ 「学習の窓」「情報整理のレッスン」等 一覧	4+折込(4)
		○ 資料(「発想を広げる」等)	6
		○ 資料(「形」等 4編他)	24
		○ 資料(「二年生で学習した漢字」等)	31
○ 「学習のための用語一覧」	2		

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫
方法	単元名，例示されているテーマ・議題，目標・活動の目的等

第2学年 話すこと・聞くこと			
	単元名	テーマ・議題の例	○目標 ◇活動の目的
東 書	考えを比べながら聞こう	「七十五歳以上の高齢者の運転免許証返納」他	○ 相手の考えとその根拠に注意して話を聞き，自分の考えと比べる。
	説得力のある提案をしよう プレゼンテーション	「ブックカフェを開いて，学校図書館に親しむ機会を作ろう。」	○ 聞き手に納得してもらうために，説得力のある話の構成を考える。 ○ 資料や機器を活用して，分かりやすく印象的に話す。
三 省 堂	話し合いで問題を検討しよう リンクマップによる話し合い	「救急車を有料化するべきである。」	○ 多様な立場や意見を想定して，テーマについてのメリット・デメリットを出し合う。 ○ お互いの立場や意見を尊重しながら話し合い，結論を出す。
	グループディスカッション 互いの考えを尊重しながら話し合いを深める	「おいしいチャーハンの作り方を知るなら，本がよいか動画がよいか」	○ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し，活用する。 ○ 相手の考えと比較ながら聞き，自分の考えをまとめる。
	プレゼンテーション 資料や機器を活用して効果的に発表する	「まだ知られていない日本のよさ」	○ 社会生活の中から題材を探し，根拠の適切さや論理の展開などに注意して，話の構成を工夫する。 ○ 話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために，資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。
	情報 複数の情報を関連づけて考えをまとめる	「互いに支え合う共生社会をつくるために」	○ 意見と根拠などの関係に注意して，互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，考えをまとめる。 ○ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ，自分の考えを広げたり深めたりする。
	読書活動 ビブリオバトル	おもしろいと思った本	「人を通して本を知る，本を通して人を知る」を合言葉にして全国各地で行われている書評合戦ゲームを行う。 ○ 集めた材料を整理し，伝える内容を検討するために編集会議を開き，話し合って考えをまとめる。 ○ 地域の特色などについて，取材や調査で集めた情報を，効果的な表現になるように工夫して文章にまとめる。 ※「書く」との複合単元
教 出	質問する力をつける	「自分の好きなもの」	○ 伝え合う内容を検討して，よりよい質問をする。
	説得力のある提案をする	「災害への対処法」	○ 話の構成を効果的に組み立てて話す。 ○ 根拠の適切さに注意しながら，意見と根拠に分けて話す。
	観点を明確にして伝える	「空き家の増加」	○ 集めた情報を整理して関係を理解し，適切に活用して課題を解決する。 ○ 図表やグラフ，写真などを用いて，聞き手に分かりやすく伝える。
	持続可能な未来を創るために	「不平等のない社会を考える」	○ 持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し，行動する。 ※「書く」「読む」との複合単元
	相違点を明確にして聞く	「絶滅の危機にあるウミガメの保護活動」	○ 論理の展開などに注意しながら聞く。 ○ 話し手の考えと自分の考えを比較したり，質問したりしながら，自分の考えをまとめる。
	よりよい結論を導く討論をする	「書店へのAIの導入」	○ 結論を導くために，相手の立場に立って推論しながら，意見を述べる。 ○ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。
光 村	「聞く」 問いを立てながら聞く	「学校図書館の利用者を増やすために雑誌を置くこと」についての提案	◇ 話の要点を捉え，意見やそれを支える根拠が適切であるかどうかを検討する練習をしよう。
	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	「ALTのマシュー先生に，町の散策コースを提案」	○ 言葉には，相手の行動を促す働きがあることを知る。 ○ 話の構成を工夫したり，資料などを使ったりしながら，自分の考えがわかりやすく伝わるように話す。
	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	「今，夢中になっていること」	○ 言葉には，相手の行動を促す働きがあることを知る。 ○ 話の展開に注意して相手の思いや考えを受け止め，質問する。
	「討論」 異なる立場から考える	「中学生にスマートフォンは必要か。」	◇ 同じ情報を基に，二つの異なる立場から考える練習をしよう。
	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	「全ての中学生は，ボランティアをすべきである。」	○ 立場を明確にして，適切な根拠とともに意見を述べる。 ○ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。
	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い，壁新聞を作る	「(国語を学ぶ意義)印象的に伝える言葉を学べる」	○ 一年間の学びを振り返り，国語を学ぶ意義を考える。 ○ 読み手のことを考え，構成や表現を工夫し，わかりやすく情報を伝える。 ※「書く」との複合単元